

令和４年度 音楽Ⅱ シラバス

科目名	単位数	学 年	学 期	必修・選択	担 当
音楽Ⅱ	2	2	全	選択必修	安田 久美

1 概要および目標

- (1) 音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
- (2) 生涯学習を視野に入れ、教材は時代や曲趣などに偏りなく幅広いジャンルの中から選び、主体的な学習活動を目指す。

2 成績評価

実技テスト・定期テスト・提出物・授業態度等を総合的に判断し、評価する。

実技テスト	ワークシート・小テスト	提出物	授業態度
50%	30%	10%	10%

3 使用教科書・教材

教科書：「改訂版 Tutti 音楽Ⅱ」教育出版

「高校生の歌集つどい」や「MUSIC NOTE」などを必要に応じて活用

4 授業の展開と形態

2学年文系3クラスを芸術選択（書道・美術・音楽）で分ける

5 学習方法

音楽Ⅰの履修・習得をふまえながらクラスの実態に即した教材選択を行い、より多くの演奏活動を体験させる。

6 履修上の注意

芸術科目に関しては、Ⅰを履修したものがⅡを履修する（高等学校指導要領より）。

音楽Ⅱ学習計画

月	課題・目標	学習内容・要点など	配当	実習・評価等
4 5	外国語で歌おう 1. 諸外国の歌曲やポピュラーソングを歌う 2. 歌唱の基本的事項を確認する 3. 伴奏に合わせてのびのびと歌う	「Amazing grace」「A whole new world」 ①外国語の発音と旋律を合わせて歌えるよう、リズムに気をつけて練習する。 ②発声の基本的事項の確認をする。 ③伴奏に合わせてのびのびと歌う。また、楽曲に合った歌い方の工夫をする。 ④楽譜中の記号に気をつける。	1 2	外国の歌に関心を持って歌うことができたか 独唱テスト
6 7	声のアンサンブル 1. 歌い合わせる楽しさを体験する 2. アンサンブルに主体的に取り組む 3. 美しい和声を感じとる	「あなたはどこに」「緑のたそがれ」 ①模範演奏を鑑賞する。 ②楽譜を見ながら、各自のパートを練習する。 ③パート同士で歌い合わせることによってアンサンブルの響きを確認する。 ④全員で合唱することにより、歌い合わせる喜びを感じとる。	1 2	各自の音取りが充分できていたか 和声の響きを感じとることができたか ワークシート 学期末テスト
9 10	三線に親しむ 1. 三線の奏法を確立する 2. 器楽アンサンブルを楽しむ	「ていんさぐぬ花」 ①三線の基本的奏法を確認する。 ②勘所を確認し、工工四に慣れる。 ③「ていんさぐぬ花」の旋律を演奏する。 ④「歌・三線」の演奏形態を練習し、表現の工夫を考える。	8	関心をもって取り組むことができたか 三線テスト
10 11	音楽をつくろう 1. 音楽を構成する要素を理解する。 2. 記譜の方法を習得する。	生徒の楽曲創作 ①グループで創作（作曲）を行う。 ③創作したものを発表する。	8	関心を持って取り組んだか ワークシート
11 12	合唱を楽しむ 1. 歌い合わせる喜びを体験させる 2. 表現の工夫について考える 3. 校内合唱コンクールで発表する	「混声3部合唱」 ①合唱コンクールで発表する曲をクラスで決める。 ②パート練習ではリーダーを決め、自主的な活動を促す。 ③模範演奏を聴き、表現の工夫について話し合い、練習する。 ④舞台上で発表することにより、合唱の喜びと楽しさを感じとる。	1 6	協力して合唱に参加することができたか 表現を工夫して歌うことができたか

月	課題・目標	学習内容・要点など	配当	実習・評価等
1 2	クラスコンサート 1. アンサンブルの楽しさを味わわせる 2. 協力して演奏する 3. クラスで発表会をする	「Amazing grace」(2重唱)「主よ、人の望みの喜びよ」(器楽アンサンブル)「ハンドベルメドレー」他 ①指定の人数でグループを作り、演奏する曲を選ぶ。 ②楽器の扱い方に注意し、演奏法などを習得する。 ③各グループでそれぞれの曲に合った表現の工夫を話し合い、練習する。 ④コンサート形式で、発表する。	10	積極的に練習することができたか 協力して演奏発表に臨むことができたか 学年末テスト
3	卒業式の歌 1. 発声に気をつけて歌う 2. 曲調に合った歌い方を工夫する クラシック音楽の世界	①卒業式実行委員会で決定した歌(曲)を練習する。 ②歌詞の意味に触れ、表現の工夫や歌い方に気をつける。 ①バッハ、ラフマニノフなどの楽曲にふれ、時代や作曲者について知る。	2 2	表現を工夫して歌うことができたか 関心を持って聴くことができたか

(70) 年間総時数